

樋口英明氏講演会(県連理事会オープン企画)

私が原発を止めた理由

～本当は誰にでもわかる原発裁判～

2023年
日時▶4月22日(土) 9:50~11:30
開催方法▶web (Zoomを使用)

主催/宮城民医連事務局

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です

みやぎ民医連

発行所 宮城県民主医療機関連合会
仙台市青葉区木町通1-8-18
〒980-0801 田村ビル5F
TEL 022-265-2601
FAX 022-263-8266
e-mail:dai@miyagi-min.com
発行人 坂田 匠
1日・15日 月2回発行 1部50円

災害公営住宅の健康調査結果を報告 県議から「協力したい」の声



調査結果を聞く県議のみなさん

3月9日、宮城民医連の2022年度災害公営住宅健康調査結果の報告会を県議会庁舎応接室で行いました。宮沼弘明会長、矢崎とも子副会長ら5名が参加。みやぎ県民の声、日本共産党、無所属の会の県議ら16名が参加しました。

初めに宮沼会長、矢崎副会長から調査結果を報告。2022年10月から11月にかけて県内10市町村4,332世帯を対象に、直接の聞き取りとポスティングの郵送回収で調査を行い、回収数653枚のうち、被災による入居者で個人情報利用を承諾された445件についてまとめたものです。

災害公営住宅に住む被災者の健康や生活の状況を把握し、支援活動に生かすことが目的で、今回が8回目です。



記者会見の様子

災害公営住宅入居後に体調が悪くなった人や体調が悪くても受診を我慢している人が多いこと、回答の70%は70歳以上で高齢者の1人暮らしが年々増え続けていること、困窮世帯は50%を超え40代から50代が深刻な状況であること、孤独死は今後も増える予想されること、等を報告しました。

県議から、保健師との連携や50代以下で生活苦が深刻な理由等の質問がありました。また、「災害公営住宅の入居者間でトラブルの多いことは聞いている。今回の調査報告を聞いて災害公営住宅の状況を把握したい」「私の地元も津波被害が大きか



盛口雅美医師

7月23日(日)に第10回県連学術運動交流集会をフォレスト仙台にて開催します。

コロナ禍の影響で、気楽に話をする場が減り孤独を感じることも多いように思います。その中、少しの会話で気持ちが楽になることがあります。

他の方が頑張っていること、同じ思いでいること、新たな発見をしよう、新しくなること、今回、この会を互いに知り交流することで、それぞれのよりよい状態、Well-beingにつながる場を「健康・豊かさってなんだろう。今こそ知ろう Well-being」にしました。Well-beingとは心身ともに満たされた状態

初は裏テーマとして、雑談はWell-beingにつながることを提案したのですが、会議でWell-beingを知ることが面白い!と盛り上がり、あえてテーマに残すことにしました。

宮城民医連7次長期計画の基本方針の一つHPH(ヘルスプロモーションホスピタル)は患者・職員・地域住民の健康水準の向上をめざし、住民やまちづくり、幸福(Well-being)・公平(Fairness)・公正(Equity)な社会の実現に貢献することをめざします。

やっていると、考えていること、知らせたいこと、問題と思っていること、なんでも。交流することより新たなつながりができ、楽しい気持ちになる、元気になれる会にしたいです。後で思い出

して連絡とりあうこともできるのは宮城民医連の仲間ならでは。コロナ禍になってからの初めての現地開催の学術運動交流集会です。皆様の参加を心よりお待ちしております。

健康・豊かさってなんだろう? 今こそ知ろう Well-being

第10回 県連学術運動交流集会

学術運動交流集会実行委員長 坂総合病院 盛口 雅美



東北医科薬科大学病院臨床心理士でもある東海林渉先生にWell-beingについてお話いただきました。宮城県に活動拠点があり、より私達に近いWell-beingのお話ができるのではと楽しみにしています。



健康手帳

「女の痛みはなぜ無視されるのか?」という本を読みました。アメリカ力における、有色人種・黒人の妊産婦死亡率はもと

と白人より高かったのがコロナ禍でさらに悪化したということから、人種差別・女性差別の問題に切り込んでいく本です。著者はアメリカ力在住でパンクラデッシュ出身の女性です。「おとなしく黙っていたら命の危険にさらされる、私たちはもっと怒っていい。女性の怒りをヒステリーと名付けて脇に追いやって来た人たちが耳を傾けるまで、声をあげなければいけない」と言います。▼民医連で出てくる文書に「たたかう」「怒りの声」などの言葉が出てくると「怖い」と思う人がいるかもしれない。けれど、誰かに踏まれた自分の足の骨が折れて血をながしている時に「すいません、その足、どかしてくれませんか?」と丁寧に頼みなさいというのは、踏んでいる側の言い分です。踏まれている自分が悪いのかのように自己責任と思いきまされてじっと我慢している人の代わりに「その足、どかさない」と、踏んでいる人に、必要なら大声で叫ぶ。踏まれているのが足であっても、人権であっても、それが民医連のアドボカシー活動なのだと思

核兵器使用のかつてない危機

一人ひとりが核廃絶の行動を起こそう

県連事務局 事務 大賀 直純

2月28日〜3月1日、2023年3・1ピキニデー集会」が4年ぶりに現地の静岡で開催され、WEBも含め1500名以上が参加しました。

海外からの連帯あいさつと活動報告で、アメリカのピースアクション代表は、「アメリカ国内に即時発射可能な核兵器が900発あり、世界は偶発的事故による核破局の瀬戸際にある」と訴え、米国内での「核破局の瀬戸際から引き戻せキャンペーン」の取り組みと、核実験被害者の救済運動を報告。「私たちは無力ではなく、恐怖で希望を忘れてはならない」と訴えられたことが強く印象に残りました。核保有国でも圧倒的多数の市民が核兵器廃絶の思いを持つことから、しっかりと核



3・1ピキニデー 墓参行進・墓前祭

集会の開催に当たり、ロシアのウクライナ侵略によって核抑止論は破綻していること、核兵器禁止条約発効以降、多くの国々が条約に合流していることに触れ、この流れを止めることなく今年11月に開催される核兵器禁止条約の締約国会議につなげ、核兵器廃絶の動きを大きく前進させようと呼びかけられました。

海外からの連帯あいさつと活動報告で、アメリカのピースアクション代表は、「アメリカ国内に即時発射可能な核兵器が900発あり、世界は偶発的事故による核破局の瀬戸際にある」と訴え、米国内での「核破局の瀬戸際から引き戻せキャンペーン」の取り組みと、核実験被害者の救済運動を報告。「私たちは無力ではなく、恐怖で希望を忘れてはならない」と訴えられたことが強く印象に残りました。核保有国でも圧倒的多数の市民が核兵器廃絶の思いを持つことから、しっかりと核

つばさ薬局のタスクシフトを議論

みやぎ保健企画 事務 高橋 健太

つばさ薬局では毎年、事務職員を対象とした研修会を行っております。今年の事務研修会は、2月4日にオンライン形式で開催されました。研修会のテーマは「つばさ薬局のタスクシフト」。つばさ薬局多賀城店の主任

再稼働させる政府には憤りを感じます。同時に核実験による被害や温暖化による島の水没の危機等、大国の行為によって何の関係もない小さな国の人々の人権が奪われており、経済大国といわれる日本に住む私たちは、常にそうしたことには思いを馳せて行動しなければ加害者となってしまつことを痛感しました。

今、世界はかつてないほど核兵器使用の危機的な状況にあり、過去に起きた真相を知り、真実に基づき、私たち一人ひとりが行動をとらなければ、いつかまた過ちは繰り返される。ピキニデー集会は2日間を通して教えてくれたような気がします。

引き続き、核廃絶運動に、ヒバクシャの方をはじめ、核なき世界を願う多くの方々と共に取り組んでいきたいと思えます。

「単純に薬剤師業務を事務に移行する課題ではないことがわかった」「何のためにタスクシフトをするのかをしっかりと考え



ないといけない」「タスクの洗い出しと整理・精査することも重要になる」「職員間のコミュニケーションが重要なため、事務と薬剤師でのパートナーシップの向上を図りたい」といった感想が多く寄せられています。

コロナ禍の中で減少傾向にある「職員間での議論の場」を作ることができたことも含め、「つばさ薬局のタスクシフト」を進めていく上で、非常に有意義な研修会でした。

環境問題と私

第14回

古川民生病院 事務 只埜 斉



小学校高学年のころ、理科の実験で乾電池をソケットに入れ、豆電球を点灯する教材がありました。その輝きは自分を虜にしました。面白くなって様々な工作を作りました。「これからは電気時代、電気に関する仕事に就こう」と志し、地元の工業高校電気科へ入学しました。在学中に脳出血し、暫しの間休学するというハプニングがありましたが無事にノーマスクで卒業し、塩釜花立町の電気工事に就職、4年後、仙台の電気工事に転職しました。一般の工事と原子力発電の工事や保安業務を請け負

私が入社3日目、私は社長の運転で福島第一原発の見学に行きました。発電所内には入ることはありませんでしたが社長から「只埜君、原発ほど安全なものはない。何重にも安全設計がされていて安全なんだよ。排気塔(煙突)から煙が出ないので環境にも優しい」と説明を受けました。原子力産業花盛りの中、安全神話にどっぷりと浸かった口調に疑念がありました。しかし、それが会社が潤うのならそれもありませんだろうとしか思いませんでした。

その後、宮城厚生協会に入職した私は古川民主

病院で施設管理の仕事に就きました。東日本大震災で起きた福島第一原発の放射能事故は、日本の原発史上最悪の事故となり、世界的にも安全対策が厳しくなった原発の建設は、どの国も進んでいない現状です。

国は再生可能エネルギーに力を入れていません。今、大崎西部地域には超巨大風力発電事業が計画されています。高さ200m級の風力発電装置が150基近く計画され、工事現場へ続く搬入経路は道路が大きく拡張されています。風力発電は否定しませんが、いくら何

クロスワード

《解き方》イラストをヒントにして、二重ワクの7文字をうまく並べてできる言葉は？ (作・モロズミ勝)

1	2	3	4	5	6
			8		
9	10		11		14
12				15	
16		17			
18		19	20		21
22					23

イラスト: 馬の毛色、スマートフォン、皮膚科の動物、春の大潮の時期、五月人形、新入社員、地球の半分、馬の毛色、スマートフォン、皮膚科の動物、春の大潮の時期、五月人形、新入社員、地球の半分

クイズの解答は事業所名、氏名、職種を記し県連事務局に送ってください。メールは不可。ファックスは可。正解者に抽選で5人に図書カードを進呈いたします。余白に日頃考えている事などを書き添えて下さい。「声」の欄に掲載させていただく場合があります。応募資格は臨時・パート含む県連職員。締切5月1日消印有効。発表5月15日号。

2月15日号答え①左の人のヘアバンド。②その人の口。③雑誌近くのお湯の水位。④台の上のベットのポットの大きさ。⑤タフレットの意符。⑥右上の人の口。⑦右下の人の服の襟。応募総数14件。当選者 鈴木登和子/ケアステーションながまら、滝浦美穂/坂根合病院、荻原緑/泉病院、村上君枝/田子のまち、中島康子/ケアステーションながまら。(敬称省略)

竹取物語の冒頭にある表現。「……は昔、話し方や態度が無愛想でぞんざいな様子、アリの対比される昆虫、勝つ負けがつかず、武士のごとき、万の万倍、気体の状態にあるもの」